



全国ガラス外装クリーニング協会連合会団体検定試験概要

令和7年12月
(一社) 全国ガラス外装クリーニング協会連合会

1 団体検定試験とは

従来の社内検定認定制度は、個々の企業や団体が、そこで働く労働者を対象に実施する社内検定のうち、一定の基準を満たすものを厚生労働大臣が認定する制度です。今回実施する「団体検定」は、(一社) 全国ガラス外装クリーニング協会連合会に所属(全国9団体のガラス外装クリーニング協会所属)していない労働者(協会に所属していない企業の労働者、個人事業主、フリーランス、求職者、学生)も受検対象者となる試験制度です。

厚生労働大臣より認定を受けるための基準の一部として、

- (1) 労働者の技能およびこれに関する知識の評価に係る客観的かつ公正な基準に基づくもの。
 - (2) 労働者の技能およびこれに関する知識を適正に評価するために必要な試験その他の評価方法を有するものであり、試験の実施方法が適切かつ公正である。
 - (3) 労働者の有する職業能力に対する社会的評価の向上に資すると認められる。
- 等があります。

2 試験の内容

(1) 職種および等級

職種「ガラス外装クリーニング」

等級「ガラス外装クリーニング1級」および「ガラス外装クリーニング2級」

(2) 試験科目

等級	種別	科目
1級	学科試験	洗浄、外壁、高所作業
	実技試験	洗浄作業、外壁部材および保護剤、ロープ高所作業
2級	学科試験	洗浄、外壁
	実技試験	洗浄作業 外壁部材

(3) 受検料(税込)

等級および所属	学科、実技両方	学科のみ	実技のみ
1級(連合会所属)	25,000円	12,000円	15,000円
1級(一般)	30,000円	15,000円	18,000円
2級(連合会所属)	15,000円	8,000円	9,000円
2級(一般)	20,000円	10,000円	12,000円

3 受検者像

(1) 1級

- ① ガラス外装クリーニング業の実務経験が概ね3年以上。若しくは、同等の技能を有する者。
- ② 様々な高所作業（ロープ高所作業、伸縮ポール作業等）を安全、正確、迅速に行う事ができ、作業に関する詳細な知識を持っている者。
- ③ 高所を含むガラス外装クリーニング作業を計画し、実行することが出来る者。

(2) 2級

- ① ガラス外装クリーニング業の実務経験が概ね1年以上。若しくは、同等の技能を有する者。
- ② 様々な低所における作業（ガラスクリーニング、低所からのポール作業等）を正確、迅速に行う事ができ、作業に関する基本的な知識を持っている者。

4 試験基準

（一社）全国ガラス外装クリーニング協会連合会のホームページに「検定の基準」として1級および2級の試験基準を掲載。

5 合格基準

(1) 1級合格基準

- ① 学科試験・・・80%以上の点数
- ② 実技試験・・・減点法により、80%以上の得点

(2) 2級合格基準

- ① 学科試験・・・70%以上の点数
- ② 実技試験・・・減点法により、70%以上の得点

(3) 合格基準

- ① 学科試験、実技試験の両方とも上記の合格基準を満たしている者を合格とする。
- ② 学科試験、実技試験のうち、どちらかが合格基準を満たしている者を一部合格とする。
- ③ 一部合格者は翌年以降合格した試験を省略することが出来る。

6 団体試験合格者

- （1）団体試験合格者には合格証書、合格証および褒賞を授与。
- （2）団体検定合格者は公式ロゴマーク等を自身の名刺等に使用可能。
- （3）団体試験合格者の会社名、氏名を（一社）全国ガラス外装クリーニング協会連合会のHPに掲載。

7 事業主の方へ

厚生労働大臣より認定を受けた団体等検定試験は、労働者の持つ技能を公正にはかる試験です。学科試験、実技試験両方合格した労働者に対して、下記のような処遇を行って頂きますようお願い申し上げます。

- ① 合格者に対して賃金等の再検討。
- ② 勤務地、労働時間、部下の人選等の決定についてイニシアチブの付与
- ③ 労働環境の改善等

8 問い合わせ先

一般社団法人全国ガラス外装クリーニング協会連合会 団体検定試験相談窓口

012-3456-7899

kentei@jgc-a.jp